

ソーシャル・ジャスティス 連携ダイアログ 2025



世界の一員である私たち一人ひとりも加担しているかもしれない“分断”を看過せず、平和と人権への思いを共有して乗り越えていく市民による取り組みが、草の根からグローバルまで続いています。本企画では、ソーシャル・ジャスティス基金の公募第 13 回による助成を受けたそういった市民のみなさんから、成果や効果、課題や展望を率直に発表いただきます。試行錯誤からの学びや、困難な中でも楽しさを感じられたエピソード等もみなさんと共有したいと思います。さらにパネル対話では、「共生とは何か」、「自分の中にある“偏見”に目を向ける」、「対立を乗り越えるために第三者が関わる意義」等のテーマで悩みを語り合います。公正な社会、ソーシャル・ジャスティスとは何かを見つめながら、課題解決に向けて市民が連携して声を上げられる新たな一歩になれば幸いです。

■プレゼンター：



向出洋祐さん

NPO 法人アクセプト・インターナショナル
海外事業局職員

『パレスチナの若者リーダーたちによる
分断を乗り越えるための対話と
東京宣言の作成』



本田佐也佳さん

きりしまにほんごきょうしつ代表

『外国籍住民への日本語教育等支援を
通したエンパワーメント・地域の
受け入れ体制の基盤作り事業』



大嶋栄子さん

NPO 法人リカバリー代表

『薬物依存女性を取り巻く
スティグマの解消ならびに
日本の薬物政策の見直しに
向けたアドボカシー事業』



中島伽耶子さん

Trunk 作家

『例えば「天気の話をするように
痛みについて話せば」2025』



高野聡さん

NPO 法人 原子力資料情報室 研究員

『核ごみ調査に揺れる地域の声をすくい上げ、
政策変更を促すアドボカシー活動』

■日時：2025 年 12 月 13 日（土）13：30～16：00 ※受付時間 13：15～

■会場：オンライン開催

※オンライン会議システム・Zoom を使用。スマホや PC 等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に開催前日までにメールいたします。聞くだけの参加も可能ですが、ご質問等を発していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、ご発言の際は自主的に顔を写していただけます。

■参加費：無料 ※先着 50 名様。申込の締め切りは 25 年 12 月 11 日または定員に達した時点の早い方。

■主催：NPO 法人まちぼと ソーシャル・ジャスティス基金 <https://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20251213.html> ※事前のお申し込みが必要です。